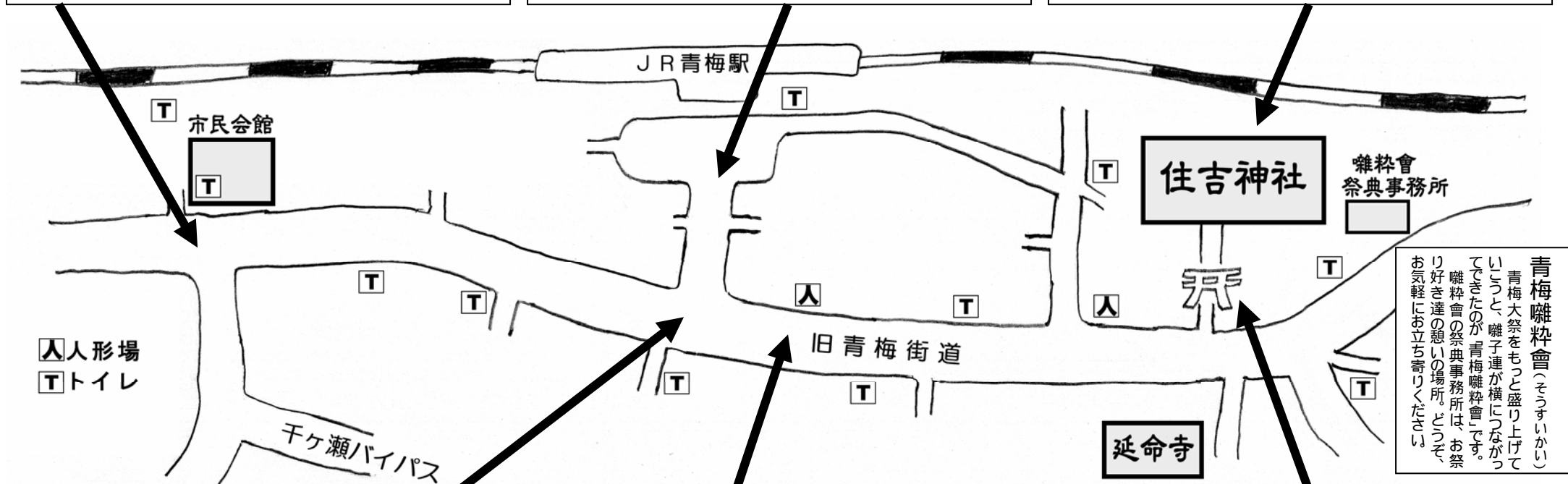


# 青梅大祭 5月3日 見どころマップ

午後6:20~ 市民会館前  
**「大祭本部へ最後のご挨拶」**  
 青梅市民会館に置かれた青梅大祭の実行本部に、宮本と本町の山車が最後のご挨拶に訪れる。大横丁を下る3町(滝ノ上町、天ヶ瀬町、大柳町)を見送った直後に森下町、上町、仲町との間で行われる競り合いでは、お祭り最後の盛り上がりを観ることができる。

午後6:40~ 駅前通り  
**「宮本&本町の山車の併走」**  
 本部へのご挨拶を終えた宮本と本町の山車は青梅駅前に戻り、駅に向かって通りを併走する。あたりは黄昏時となり、灯の入った提灯がゆらゆらと揺れる様は幻想的ともいえる光景で、やはり見逃すことのできない、青梅のお祭りの象徴的なシーンとなっている。

午前8:00~ 住吉神社境内  
**「『囃子会』安全祈願祭」**  
 青梅大祭に参加する18の囃子連によって結成された「青梅 囃子会(そうすいかい)」の有志が一堂に会し、お祭りの安全と成功を祈願して本殿に参拝し、手締めを行う。これから始まるお祭りを心から楽しもうとする若者たちの、祭りにかける心意気が伝わってくる。



午後5:20~ 駅前交差点  
**「青梅駅前 四町競演」**  
 宮本、本町、西分町、勝沼町の4台の山車によって行われる「駅前四町競演」は、青梅大祭の最大の見どころ。ここでは、その場に居るすべての人が一体となり、その興奮は最高潮に達する。まさにお祭りの“動のクライマックス”。絶対に見逃せない圧巻のシーンだ。

午前10:00~/午後2:00~ 市街各所  
**「12町の山車の競り合い」**  
 東六町(勝沼町、西分町、宮本、本町、仲町、上町)の山車と西六町(日向和田、裏宿町、森下町、天ヶ瀬町、滝ノ上町、大柳町)の山車が、旧青梅街道のあちこちで相次いで競り合いを行う。威勢のいいお囃子を十分に堪能できる、心がワクワクする時間帯だ。

午後7:30~ 住吉神社参道  
**「神事 昇魂の儀(宮入り)」**  
 前日の夜に行われた「入魂の儀(宮出し)」において、山車へと移された御霊(みたま)は、この「昇魂の儀(宮入り)」で神社へとお帰りになられる。かがり火の中で厳かに執り行われるこの神事は、お祭りの最後を飾る“静のクライマックス”といえよう。

(表示は目安時間です。状況により時間にズレが生じる場合もありますので、ご了承ください)



本町の山車人形  
 (武内宿禰、応神天皇、神功皇后)

## もう一つの見どころ 人形場の「山車人形」(上のマップの「人」マークのところで観られます)

青梅宿の旧五町「住江町(宮本)/本町/仲町/上町/森下町」にはそれぞれに「人形場(にんぎょうば)」が設けられており、市の文化財である「山車人形(だしにんぎょう)」が飾られています。これらは、明治44年に電線が架設される前には、三層高欄の作りであった山車の最上段に飾られていたものです。住江町に残されている山車人形は、胎内に子を孕みながらも戦に赴かんとする『神功皇后(じんぐうこうごう)』の出陣姿で、江戸の名人人形師の一人である仲秀英の作。そして、本町に残されている山車人形は、戦装束に身を包む『神功皇后』に、まだ幼子の『応神天皇(おうじんてんのう)』を抱く『武内宿禰(たけのうちのみすくね)』が付き従う姿で、同じく江戸の名人人形師の原舟月の作。いずれも明治初期に作られた傑作で、他所で見られる人形とは別格と断言してもいいほどの出来映えです。



住江町の山車人形(神功皇后)

青梅の祭りのことをもっと知りたければ.....  
 『青梅住吉祭礼』(500円)と『青梅の祭礼で大切にされてきた形式美』(1200円)の2冊の本と各種ビデオ&DVDをゲットしよう! ご購入に関するお問い合わせは、「マイナー堂」「オリオンカメラ」「ハイカラ屋」まで(裏面参照)

墨江町囃子連ホームページ <http://park12.wakwak.com/~ome-matsuri/>  
 お問い合わせメールアドレス [ome-matsuri@ba.wakwak.com](mailto:ome-matsuri@ba.wakwak.com)



## 歴史・由来

住吉神社

青梅には、六百年以上もの歴史をもつ「延命寺」という古刹があります。その寺の僧であった季竜(きりゅう)禪師は、自らの郷里である摂州の堺(大阪府堺市)に鎮座する「住吉神社」を鎮守として勧請し、この地の山に「住吉」の号を付しました。それが、青梅の「住吉神社」のルーツとなっています。時代は下り、住吉神社の社殿が建立されたのは一五三年三月二十八日のこと。この日が、地域の総鎮守となつた住吉神社の祭礼の日となりました。明治になって、暦が陰暦から太陽暦になると、祭礼の日は四月二十八日に移されますが、現在でも、この日には各町の代表らが参列して、神社の例大祭が行われています。また、墨江町囃子連では、その前夜に、「奉納囃子」をしめやかに執り行っています。住吉神社の祭礼に山車が曳行されるようになったのは明治期以降のことといわれていますが、昭和四十年代からは、華やかな山車の曳行だけがゴールデンウィークの五月二日、三日に移され、現在の「青梅大祭」の形態となりました。江戸の情緒をいまに残す青梅の祭礼は、関東でも有数の規模を誇るお祭りとなっています。



延命寺

青梅駅時刻表	奥多摩方面		立川・東京方面	
	時	分	時	分
(3日)	44	29	05	10
	44	16	10	20
	52	37	06	18
	26	19	08	19
	47	12	05	17
	19	21	09	24
	39	02	12	26

下線付き：快速東京行 / 枠囲み：ホリデー快速新宿行き

制作・発行：墨江町囃子連 & 本町囃子連